

岡見正雄先生略年譜

大正2年7月30日 東京に於て生まれる。父字一、母聿の長男。

本籍秋田市。

大正8年4月

東京 音羽小學校入學。

大正12年

大阪 玉出第二尋常小學校へ転校。

大正14年3月

同校卒業。

大正15年4月

大阪府立住吉中學校入學。

昭和5年3月

同校四年修了。

昭和5年4月

大阪府立浪速高等學校入學。

昭和8年3月

同校卒業

昭和8年4月

京都帝國大學文學部國語國文學科入學。

昭和11年3月

同校卒業。

昭和11年4月

京都帝國大學大學院入學。

昭和14年9月

天理外國語學校教授。

昭和18年3月

京都府立京都第一高等女學校教諭。

昭和23年10月

京都府立桃山高等學校教諭。

昭和24年3月

京都市立日吉ヶ丘高等學校教諭

昭和29年4月

京都女子大學教授。

昭和36年4月

関西大學教授（昭和54年3月まで）

昭和37年3月

京都大學より、文學博士号授与せられる。

昭和54年4月

中京大學教授（昭和62年3月退職）

平成2年2月6日

死亡。享年七十六歳。

京都大學（昭28、29、32、35） 天理大學（昭30） 奈良女

子大學（昭32、45） 高野山大學（昭32、35） 岐阜大學

（昭34、37） 九州大學（昭37） 同志社大學（昭37） 立命

館大學（昭38、47） 愛媛大學（昭41） 成蹊女子短期大學

（昭47、平成2年2月）の非常勤講師を歴任。

岡見正雄先生著作目録

一、編著書目録

- 良基連歌論集 一 昭和27年10月 古典文庫
 良基連歌論集 二 昭和29年1月 古典文庫
 良基連歌論集 三 昭和30年3月 古典文庫
 義経記（日本古典文學大系37） 昭和34年5月 岩波書店
 太平記・曾我物語・義経記（日本古典鑑賞講座12）〔共編〕 昭和35年2月 角川書店
 太平記 三（日本古典文學大系36）〔共編〕 昭和37年10月 岩波書店
 愚管抄（同右86）〔共編〕 昭和42年1月 岩波書店
 日本文學の歴史6 文學の下剋上〔共編〕 昭和42年10月 角川書店
 抄物資料集成〔共編〕 昭和46年7月 清文堂
 古奈良絵本集 一（天理図書館善本叢書8） 昭和47年9月 八木書店
 昭和50年12月 角川書店
 太平記 一（角川文庫） 昭和51年8月 角川書店
 太平記・曾我物語・義経記（鑑賞日本古典文學21）〔共編〕 昭和57年4月 角川書店
 太平記 二（角川文庫） 昭和58年3月 岩波書店
 標準注洛中洛外屏風（上杉本）〔共編〕
- 二、論文目録
- 室町時代物語の一特質 國語國文 昭和10年1月
 福富草紙繪卷について 昔話研究一ノ8 昭和10年12月
 御伽草子解説 昔話研究一ノ12 昭和11年4月
 春浦院本福富草紙詞章私解 國語國文 昭和11年5月
 御伽草子解説 昔話研究二ノ3 昭和11年7月
 座頭と笑話―義経記に至る中世口承文藝史抄― 國語國文 昭和12年8月
 判官物語考―同右― 國語國文 昭和12年11月
 物語より記へ―同右― 國語國文 昭和12年12月
 応安新式の制立―観応二年讒語僻連抄を中心として―

同右

國學院雜誌 昭和15年8月

國學院雜誌 昭和15年9月

同右 僻連抄僻連秘抄連歌新式校訂

國學院雜誌 昭和15年10月

通世者―時宗と連歌師―

國文學論究 昭和15年11月

義経記覚書―鬼一法眼のことなど

國學院雜誌 昭和16年11月

歌問答を廻りて―歌垣に関する断想―

國語國文 昭和17年12月

心敬覚書―青と泉曲と見ぬ佛―

國語國文 昭和22年9月

室町ごろ

國語國文 昭和26年11月

近古小説のかたち(一)

國語國文 昭和28年10月

繪解と繪巻・繪冊子―近古小説のかたち

統一 國語國文 昭和29年8月

「もの」―出物・物着・花の本連歌―

國語國文 昭和30年2月

日本文藝における連歌の位置

女子大國文3 昭和31年1月

鼠草子―御伽草紙複製集(一)―

女子大國文5 昭和32年3月

同 (一)―同右

女子大國文6 昭和32年6月

どんな新しい研究領域があるか・中世 解釈と鑑賞 昭和32年5月

説教と説話―建保四年写明尊草案集中の一説話の釈文―

國語國文 昭和32年8月

管見資料二・三―幸若舞写本・是書坊・自戒集―

中世文學3 昭和33年5月

白河印地と兵法―義経記覚書―

國語國文 昭和33年11月

説話・物語上の西行について―一つの解釈―

日本繪巻物全集11 昭和33年11月

御伽草子

國説世界文化史大系(日本Ⅱ)

昭和34年6月

繪解と繪巻・繪冊子

日本繪巻物全集6

昭和35年3月

時宗と連歌師

岩波日本古典文學大系月報35

昭和35年3月

譬女覚書

女子大國文20

昭和36年2月

國文學における民俗學的方法

解釈と鑑賞

昭和36年4月

陣借

岩波日本古典文學大系月報62

昭和37年10月

御伽草子小考

角川古典鑑賞講座月報25号

昭和38年1月

大原の別所その他(平家物語の旅)

古典の窓6

昭和39年3月

説教と説話―多田満仲・鹿野苑物語・有信卿女事

仏教藝術54

昭和39年5月

唱導師と説話(書かれざる文學8)

岩波日本古典文學大系二期月報9

昭和39年12月

琵琶法師と譬女―繪巻・繪冊子に現われた―

(書かれざる文學9)

昭和40年1月

物語僧のことなど(書かれざる文學10)

(書かれざる文學10)

昭和40年2月

繪解のことなど(書かれざる文學11)

同右12

昭和40年3月

中世文學と仏教(討論会要旨)

中世文學13

昭和43年5月

御伽草紙絵に就いて—十二類合戦絵巻・福富草紙・

道成寺縁起絵巻を通じて— 日本絵巻物全集18 昭和43年11月

御伽草子—絵草子の問題に関連して—

講座日本文学6 昭和44年1月

御伽草子の世界 世界文化社日本歴史シリーズ8 昭和44年2月

一遍聖絵随想 岩波日本思想大系月報9 昭和46年1月

雪国の春(柳田國男解説)(角川文庫) 昭和46年5月

古本奈良絵本解説 善本叢書8巻 昭和47年7月

『幻中草打査』翻刻 近世文学作家と作品 昭和48年1月

冬の旅 関西大学通信 昭和48年1月

浄林房阿闍梨豪奢の事など—金沢貞顕・貞将書状と太平記—

国文学(関西大学)50 昭和49年6月

謎の中世山徒史 歴史読本 昭和49年10月

常世の浪の寄する国々ふるさとの古典 文学の旅10 昭和50年3月

千趣会 昭和50年3月

語釈雑談(一) 朝夕雑色 国語科通信29(角川) 昭和50年6月

番場蓮華寺過去帳のことなど 柴田実先生古稀記念会

昭和51年1月

時宗と陣僮 時衆研究70 昭和51年11月

小さな説話本—寺庵の文学、桃華因縁—

天狗説話展望—天狗草紙の周辺—

日本絵巻物全集27 昭和53年3月

熊野の物語—熊野の本地—

日本神道史研究第2巻月報 昭和53年4月

道成寺縁起の物語化 国語科通信37(角川) 昭和53年5月

御伽草子の世界—その絵解的表现 太陽(平凡社) 昭和54年7月

琵琶法師と旅 朝日カルチャーブックス 日本の旅びと

大阪書籍 昭和58年4月

面白の花の都や—上京と下京— 文学 昭和59年3月

三、書評・紹介・解説・座談会その他

風巻景次郎著『新古今時代』 国語国文 昭和11年8月

横山重・藤原弘著『説教節正本集』 国語国文 昭和11年12月

柳田國男著『昔話と文学』 国語国文 昭和14年3月

伊藤寿一・鹿嶋正二著『和漢朗詠集山城切解説及釈文』

国語国文 昭和14年5月

『雁草子複製』 国語国文 昭和16年3月

市古貞次著『中世小説の研究』(書評) 文学 昭和31年5月

金井清光著『時衆文藝研究』 国語と国文学 昭和43年9月

国語と国文学 昭和52年5月

『岩手県上閉伊郡昔話集』(柳田国男編、佐々木善採録)解説

三省堂『日本昔話記録』2 昭和48年10月

柳田国男著「物語と語り物」解説 角川選書54 昭和50年4月

筑土鈴寛氏の業績―「筑土鈴寛著作集」の刊行によせて―

文学 昭和51年8月

お伽草子の世界(佐竹昭広・松田修と鼎談) 文学 昭和51年9月

中世文化の心と形―乱世―(村井康彦・守屋毅と共同討議)

淡交 昭和51年4月

徳江元正著「藝能・能藝」 国文学 昭和52年7月

故角川君を偲ぶ 伝承文学研究20 昭和52年7月

乱世(中世―心と形)対談 講談社 昭和53年5月

洛中洛外屏風図をめぐる座談会 文学 昭和59年3月

四、講 演

芭蕉の遺跡 伊賀上野と新大佛寺 近畿文化会 昭和46年7月18日

太平記に見える笠置 近畿文化会 昭和46年10月9日

酒吞童子 舞鶴市民文学講座 昭和51年10月2日

お伽草子 NHKテレビ 昭和52年5月(四回)

太平記 朝日アートセンター 昭和52年9月3日

天狗 国学院大学公開講演会 昭和52年11月26日

平家物語 毎日教養講座 昭和52年2月13日

お伽草子の世界 帝塚山大学日本文学会 昭和53年6月15日

説教と説話 おてつき運動(浄土宗) 昭和54年6月

奈良絵本について 奈良絵本会議 昭和54年8月22日

福徳招来の物語 NHKラジオ放送

○文正草子 昭和55年1月1日

○大黒舞 1月2日

○猿源氏草子 1月3日

面白の都や 折口信夫古代講座講演 慶応大学 昭和55年10月4日

旅八芦屋市民講座▽ 芦屋市民センター 昭和61年7月4日

琵琶法師の事など 観音経講座(於妙法院) 昭和61年7月20日

面白の花の都や 中京大学公開講座 昭和61年9月

(岡見 弘)